

## 成年年齢引下げに伴う「旭川市成人を祝うつどい」の対応について（案）

民法改正に伴い令和4年(2022年)4月1日より成年年齢が18歳に引き下げられる。これを受け、令和4年度以降に開催する旭川市成人を祝うつどいは、以下のとおり開催したい。

**1 対象年齢： 20歳（その年度に20歳になる者）（現行どおり）**

（理由）

- （1）20歳は18歳と比較して、学生や社会人としての経験を積むことにより、社会の規範を深く理解し、より強い自覚を持って社会に貢献できるようになっているとともに、飲酒・喫煙等の制限がなくなり、成人としての自覚を改めて促す機会としてふさわしく、大きな節目の年齢であるといえるため。
- （2）18歳を対象とした場合、受験や就職準備時期と重なり、本人や家庭の負担が大きく、出席者の減少につながると考えられるため。（開催時期を夏などに変更すればこの問題は解消されるが、市民アンケートでは8割以上の方が1月の開催を希望している。）
- （3）20歳は、高校等を卒業後、式を機会に同窓生が集まり交流を深める時期としてふさわしいため。また飲酒が可能となり、式典終了後の同窓会の開催など一定の経済効果も期待できるため。
- （4）高校等の制服でなく振袖での参加者が中心となり、和装文化の継承につながるとともに、市内の着物業界への経済効果も期待できるため。
- （5）市民アンケートで、約65%の方が20歳での開催を希望しているため。

**2 式典内容： 20歳で開催するのにふさわしい行事として内容・名称を見直し**

式典の趣旨として、成人になったことを祝うのではなく、高校卒業後一定の経験を積んだ同窓生が20歳の節目に集まり旧交を温め合うとともに、主催者として、成人であることの自覚を改めて促し激励するなど、20歳で集う意義を整理し、それにふさわしい式典の内容と名称に見直す必要がある。（名称：「旭川市20歳のつどい」など）

**3 開催時期： 「成人の日」の前日の日曜日（令和5年1月8日）**

（理由）

- （1）3連休の中日とすることで、遠方から帰省しての参加がしやすくなるため。（令和3年1月から、開催日を「成人の日」からその前日に変更したところであり、これを再び変更することは混乱を招く。）
- （2）市民アンケートで、約83%の方が1月の開催を希望しているため。

## 1 対象年齢について

### (1) 国の有識者会議の報告書

平成30年9月に設置された、国の「成年年齢引下げを見据えた環境整備に関する関係府省庁連絡会議－成人式の時期や在り方等に関する分科会」が、各種アンケート結果や関係者へのヒアリング等をもとに、令和2年3月に「成人式の時期や在り方等に関する報告書」をとりまとめている。

アンケートや委員の意見等では、対象年齢として20歳とするのがよいと回答が最も多くなっている。

(報告書の概要)

#### ①対象年齢として何歳がふさわしいか

- ・国が平成30年11～12月に若者及びその親の世代5,000人を対象に行った世論調査(回答数2,760人)

	18歳	19歳	20歳	21歳
若者(16～22歳)	341 (18.9%)	135 (7.5%)	1,285 (71.9%)	11 (0.6%)
その親世代(40～59歳)	330 (34.4%)	60 (6.3%)	527 (55.0%)	6 (0.6%)

- ・全国高等学校PTA連合会が平成30年12月～翌年1月にPTA3,963団体を対象に行ったアンケート調査(回答数2,183団体)

18歳	19歳	20歳	21歳	こだわりなし
580 (26.6%)	262 (12.0%)	1,173 (53.7%)	19 (0.9%)	149 (6.8%)

- ・(公財)日本財団が平成30年12月に全国の17～19歳の若者を対象に行った意識調査(回答数800人)

18歳	20歳	その他
23.9%	74.0%	2.1%

#### ②対象年齢に関する意見

報告書では、有識者会議での意見交換の「要約」として、「18歳にすべきとの意見と20歳にすべきとの意見の双方が出されたが、これまでと同様に20歳の方を対象として実施するという意見が多数であった」とされている。

##### (18歳とする理由)

- ・ 成年となったことの自覚を促すための機会として、できるだけ早いほうがよい。
- ・ 何年か経ち18歳が成人という認識が定着すれば、18歳での成人式が自然である。
- ・ 制服での参加等によって家庭の経済的負担が軽減する。 など

##### (20歳とする理由)

- ・ 社会経験を積むことで、社会の規範をより深く理解し、より深い自覚を持って社会に貢献できるようになるため、意義深い式となる。
- ・ 本人や家族も含めて落ち着いた環境で成人を祝うことができ、家族、旧友、地域社会とのつながりをしっかりと確認することができる。
- ・ 地域を離れた人が成人式を機会に帰省し同窓生と交流することで、Uターンへのモチベーションが生まれる。
- ・ 飲酒や喫煙は20歳まで禁止されており、20歳で大人として扱われる環境が整う。
- ・ 18歳の1月に実施した場合、多くが受験や就職の準備等で時間的・精神的・経済的余裕がないため、出席者が少なくなる。
- ・ 18歳とすると、成年年齢引下げ直後の成人式には18歳から20歳までの新成人が参加することになり、主催者が混乱する。 など

## (2) 旭川市が行ったアンケート

- 旭川市教育委員会が、平成30年11月に、中学1、2年生の保護者5,383人を対象に、成人式のあり方等に関するアンケートを行った。(回答数3,570名)  
対象年齢として20歳とするのがよいとの回答が最も多くなっている。

問. 成年年齢引き下げ後、成人式の対象としてふさわしいと思う年齢は？

18歳	19歳	20歳	その他・無回答
864名 (24.2%)	121名 (3.4%)	2,308名 (64.6%)	277名 (7.8%)

(18歳とする理由)

- ・ 成年年齢が18歳だから
- ・ 地元にいるので参加しやすいから
- ・ 制服で参加すれば経済的だから など

(19歳とする理由)

- ・ 高校を卒業して同窓会等を開くタイミングとしてふさわしいと思うから
- ・ 18歳だと受験で忙しく、20歳だと成年年齢から離れているから など

(20歳とする理由)

- ・ 高校を卒業して同窓会等を開くタイミングとしてふさわしいと思うから
- ・ 飲酒や喫煙が可能となるのが20歳だから など

## (3) 令和2年度 旭川市成人を祝うつどい実行委員会のメンバーからの意見

令和2年度の実行委員会の最終会合で、対象年齢についての意見交換を行った。全体としては、対象年齢として20歳とするのがよいとの意見が大勢を占めた。

(18歳に肯定的な意見)

- ・ 出席率を高める点からは、皆が地元に残っている18歳がよいのではないか。
- ・ 全員が飲酒できない18歳で行ったほうが、落ち着いた式典になるのでは。

(18歳に否定的、20歳に肯定的な意見)

- ・ 18歳だと受験や就職準備に重なり家計の負担が大きく、出席率も下がるので、20歳がよい。
- ・ 18歳だと同窓会的な意味合いが薄れるので20歳がよい。お酒も飲めるし経済効果もあると思う。
- ・ 18歳だとやんちゃなものも多く落ち着いた式になりにくい。
- ・ 飲酒・喫煙など全てが許される20歳を対象にしたほうが、大人になった意識を実感できる。
- ・ 18歳だと制服での参加となり、振袖を着る機会がなくなるので、20歳がよい。
- ・ 18歳を対象とした場合、成年年齢引き下げ直後の式の際に、3学年合同での実施となるのはイヤだ。

## (4) きもの業界からの要望

平成30年12月に、20歳の祝典国民推進会議(代表：日本きもの連盟会長)より旭川市長と旭川市議会議長に対し、対象年齢を20歳とするようにとの要望書が提出されている。

## 2 開催時期について

開催時期については、遠方から帰省する新成人が参加しやすくなること等をねらって、令和3年1月のつどいから、3連休の中日(成人の日の前日)に開催日を変更したところである。

これを再び変更することは混乱を招くことから、この考え方にに基づき、令和5年1月8日(日)の開催とする。

各種のアンケート調査においても、成人式の実施時期については、1月中の実施が適当との意見が大半を占めており、8月(お盆など)の開催を希望する回答は少ない。

(1) 国の有識者会議が令和元年に全国の市町村に行ったアンケート結果(回答数1,037件)

1月	8月	その他
919件 (88.6%)	96件 (9.3%)	22件 (2.2%)

(2) 旭川市が平成30年に中学1,2年生の保護者に行ったアンケート結果(回答数3,570名)

1月	8月	その他
2,960名 (82.9%)	303名 (8.5%)	167名 (4.7%)